

船舶事故調査報告書

平成22年9月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 根本 美奈

事故種類	乗船者死亡
発生日時	平成21年11月28日（土） 08時30分ごろ
発生場所	不明（高知県土佐市宇佐漁港～同県 ^{よこなみ} 横浪半島東端の間）
事故調査の経過	平成21年11月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート ^{まるみや} 第二丸宮丸、5トン未満 282-10113高知、個人所有 6.14m(Lr)×1.91m×0.97m、FRP ガソリン機関、51.49kW、昭和60年2月
乗組員等に関する情報	船長 男性 70歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和50年12月3日 免許証交付日 平成17年8月1日 (平成23年4月18日まで有効) 同乗者 男性 66歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和53年12月1日 免許証交付日 平成18年4月4日 (平成23年5月9日まで有効)
死傷者等	死亡 2人（船長、同乗者）
損傷	大破
事故の経過	本船は、船長が、平成21年11月28日07時ごろ家を出て土佐市宇佐漁港の係留場所に向かい、同漁港から同乗者1人とともに釣りの目的で出港し、横浪半島の南岸沖に向かった。 本船は、夕方になっても帰港しなかったため、船長の家族が19時21分ごろ、海上保安庁へ118番通報し、翌29日11時20分ごろ、本船が横浪半島東端の岩場（土佐市白ノ鼻 ^{しらのはな} 灯台から068°（真方位、以下同じ。）60m付近）に無人で乗り揚げているところを、捜索中の海上保安庁の航空機により発見された。 同乗者は、同日12時15分ごろ、白ノ鼻灯台から333°140m（船体発見場所の西北西方220m）付近で、船長は、12月2日15時20分ごろ、同灯台から080°300m（船体発見場所の東方沖170m）付近において、救命胴衣未着用の状態でそれぞれ発見された。

	船長及び同乗者の死因は溺水で、死亡推定時刻は、28日08時30分ごろとそれぞれ検案された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 2、視界 良好 海象：波高 不明	
その他の事項	船体に衝突痕を示す塗料等の痕跡は認められなかった。 船内から救命胴衣2着が発見され、そのうちの1着に船長の氏名が記入されていた。 船長及び同乗者のそれぞれの軽トラックは、本船の係留場所付近の岸壁に駐車してあった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は、船長及び同乗者とも溺水であった。 本船は、船長及び同乗者が乗船し、平成21年11月28日朝に宇佐漁港を出航後、29日11時20分ごろ、横浪半島東端の岩場に無人で乗り揚げているところを発見されたことから、この間において、両人が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が宇佐漁港を出航後、船長及び同乗者が落水したことにより発生したものと考えられる。	